

令和5年2月28日

(宛先) 高松市長

実績報告書

次のとおり令和4年度脱炭素型ライフスタイル推進モデル事業を実施したので、関係書類を添えて報告します。

氏名又は団体名称 及び代表者の氏名	十河校区コミュニティ協議会
事業名	生ごみゼロ！みんなで作る脱炭素社会事業
選択テーマ (①～③)	②みんなで取り組むはじめての脱炭素行動
決算額 (総事業費)	152,775円
事業実施期間 (着手日・完了日)	令和4年 8月 3日 ～ 令和5年 2月 28日
事業実施内容及び実施状況	
※ テーマ①、②を選択した場合は、他の主体における再現性を意識し、事業の準備及び実施の経過を詳細に報告してください。 ※ テーマ③を選択した場合は、作成した広報媒体等を添付して提出してください。	
9月 計画の詳細内容を打合せ キューロ試作品製作 10月 広報紙掲載、小学校チラシ配布「環境について、みんなで考えてみませんか？」 10月下旬から11月上旬 プラスティックゴミ削減のパネル展 11月 2日 ゼロカーボンシティの実現に向けた説明会 11月 6日 第1回私たちに何ができるかみんなで考えよう！ 12月 3日 第2回生ごみ処理機「キューロ」を作ろう！ 木工ワークショップ	
事業実施による成果及び課題	
小学生が親子で参加できる内容を企画し、コミ協安全環境部会や地域の人と一緒に考え具体的に実践できる生ごみ処理機「キューロ」を製作することとした。11月を環境について考える月間とし、ゼロカーボンシティの説明会やプラスチックゴミ削減のパネル展を同時期に開催、キューロの試作品の展示で、一般のコミセン利用者の方、コミ協役員にも関心をもってもらうことができた。 脱炭素型ライフスタイルは難しい言葉ではなく、自分の生活と将来に直結していること、マイボトルやウォーターサーバーなど、今すでに実践できていることの確認ができた。キューロワークショップは地元木工所の協力でキット化が実現、丁寧な指導で小学校低学年でも取り組めた。ただ、キットの作成には非常に手間がかかり、キットの量産化は難しそう。今後キューロの進捗を話し合ったり、地域に報告して、脱炭素ライフスタイルの普及に努めたい。	
添付書類	収支決算書 収支決算内訳書 補助対象経費を支払ったことを証する領収書等の写し

注 記入欄は、適宜、行を追加し、又は資料を添付してください。

収支決算書

1 収入の部

区 分	予 算 額	決 算 額	差引増減額	摘 要
委託料	100,000 円	100,000 円	0 円	
参加費	30,000 円	33,000 円	3,000 円	3,000×11 名
地元負担金	0 円	19,775 円	19,775 円	
計	130,000 円	152,775 円	22,775 円	

2 支出の部

区 分	予 算 額	決 算 額	差引増減額	摘 要
謝金	20,000 円	15,000 円	- 5,000 円	
消耗品費材料	102,000 円	63,275 円	- 38,725 円	材料
消耗品費その他	8,000 円	16,500 円	8,500 円	試作品
委託料	0 円	58,000 円	58000 円	キット加工
計	130,000 円	152,775 円	22,775 円	

※ 対象経費

対象経費は、取組の内容に要する経費（人件費、謝金、交通費、使用料及び賃借料、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、役務費等）とする。ただし、備品購入費や施設整備費等のハード事業に係る経費、経常的な運営費、その他事業との関連性が認められない経費については対象外とする。

なお、人件費は費用弁償として最低限必要な額に限るものとし、イベント等における参加者に係る経費等は認めない。

